

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	中能登町 174076
地域名 (地域内農業集落名)	春木 (春木)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	46.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	46.1 ha
② 田の面積	44.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、人口減少及び高齢化が進んでいる。
 農業の担い手については、平成22年完了の土地改良事業の実施により、区画の大型化、農業用施設の近代化、担い手の確保が図られたが、事業完了から相当年数が経過したため、離農者の増、施設の老朽化などの問題が生じている。
 土地改良事業実施当時の担い手のほとんどが高齢となっているため、次代の担い手確保が喫緊の課題であるが、集落内の若年層が非常に少なく、後継者が確保されている農家は非常に少ない。
 実際に集出荷を行う農業者:8人(うち50歳代以下0人)、団体経営体(営農組織、農事組合法人)1経営体
 主な作物:水稻、大豆、麦、そば、野菜

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

慣行の水稻を主要作物とし、転作作物や野菜、有機農業による作物など、多様な作物の生産も進める。
 水路等の再整備など次期の土地改良事業の実施要否や農作業の共同化による省力化を検討し、農地維持の継続を目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、集落内の担い手（認定農業者、法人、水準到達者等）への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で、農業を担う者全体で農地利用を進める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
団地数の減及び団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、集積率の向上と団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。
(3) 基盤整備事業への取組
平成22年に完了済
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
現在の農業者や法人の継承のために多様な経営体を募り、県や市町村、JAと連携し、定着するよう努める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
サービス活用の検討は常時行う。複数農業者での委託の実現可能性についても検討する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考	
認農	A	米、麦、大豆、野菜	31.8 ha	ha	米、麦、大豆、野菜	31.8 ha	ha	A		
利用者	B	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	B		
利用者	C	水稻	2.5 ha	ha	水稻	2.5 ha	ha	C		
利用者	D	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	D		
利用者	E	水稻、野菜	0.3 ha	ha	水稻、野菜	0.3 ha	ha	E		
利用者	F	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	F		
利用者	G	水稻	1.0 ha	ha	水稻	1.0 ha	ha	G		
利用者	H	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	H		
利用者	I	水稻	1.7 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	I		
			ha	ha		ha	ha			
			ha	ha		ha	ha			
			ha	ha		ha	ha			
計	9経営体		40.0 ha	0 ha		40.0 ha	0 ha			

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

S=1:6000

色	氏名	地区名
黒枠	計画の区域内農地	
黒枠且つ塗りつぶし無	その他農家、担い手未定	
	B	春木
	F	春木
	D	春木
	A	春木
	E	春木
	H	春木
	I	春木
	C	春木
	G	春木

